



2005年3月期決算説明会



証券コード 5017

AOCホールディングス株式会社

2005年5月20日

www.aochd.co.jp



第一部 2005年3月期連結決算および 2006年3月期連結業績見通し

取締役副社長 関屋 文雄

連結対象会社

 AOCホールディングス		
	上流	下流
連結 子会社 10社	アラビア石油(100%) Arabian Oil Company (Cayman) (100%) Norske AEDC (100%) 新華南石油開発(84.3%) (2004年4月～)	富士石油(100%) 富士石油販売(100%) 富士タンカー(100%) 富士臨海(70%) ペトロプロGRESS(100%) Petro Progress Pte. Ltd.(100%)
持分法 適用会社 3社		Aramo Shipping (Singapore)(50%)
	その他	
	日本オイルエンジニアリング(99.9%)(2004年12月～) 東京石油興業(49.8%)	

(注) 括弧内数値は株式保有比率

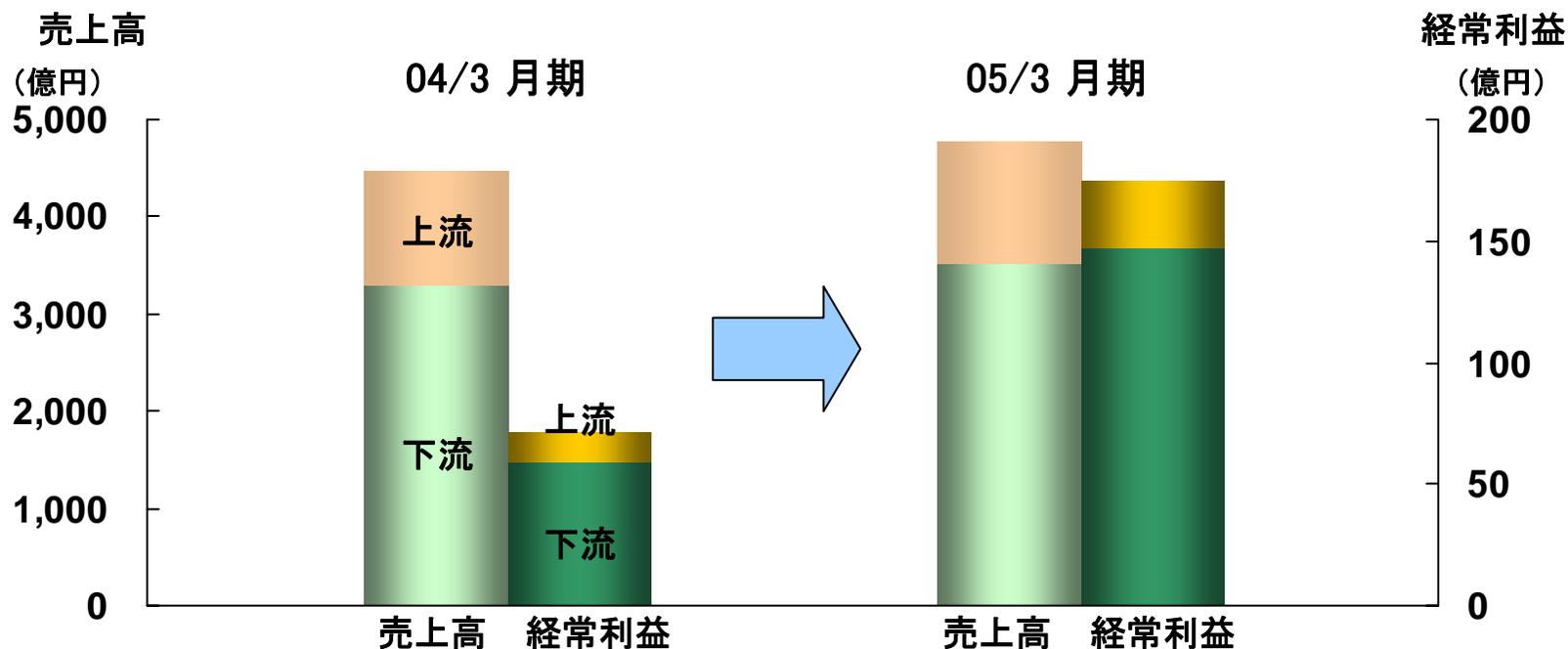
連結子会社新規: 1社 新華南石油開発

連結子会社除外: 1社 AEDC(USA)

05/3月期 連結決算の概要

(億円)	05/3月期 \$36.6/Bbl ¥108/\$			04/3月期 \$27.0/Bbl ¥113/\$			増減額 \$9.5/Bbl ¥5/\$ 円高		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	1,258	3,514	4,772	1,167	3,307	4,474	90	207	298 (7)
営業利益	34	149	184	19	58	78	14	91	106 (136)
経常利益	28	147	175	12	59	72	15	87	103 (142)
当期利益	50	121	172	15	28	44	34	93	128 (292)

(注)内部取引消去は下流部門に含めて表記。油価はドバイ原油。



セグメント別売上高/営業利益

内部取引 消去後 (億円)	05/3月期			04/3月期			増 減		
	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	894	63	3,814	1,030	36	3,407	△135	27	407
営業利益	7	27	149	11	7	58	△4	19	91

売上高/営業利益増減分析:

	増加要因	減少要因
売上高		
カフジ関連 石油・天然ガス/開発関連 石油精製/販売	油価上昇 新華南石油連結子会社化 油価上昇 単価上昇 製品総販売量増加	販売数量減少 AEDC(USA) 期中売却 電力向け重油販売減少
営業利益		
カフジ関連 石油・天然ガス/開発関連 石油精製/販売	新華南石油連結子会社化 +19億円 在庫取り出し益 +37億円 重軽格差の拡大 石化製品好市況	TSA事業の伸び悩み 円高 AEDC(USA)期中売却 電力向け重油販売減少

営業外損益／特別損益の内訳

(百万円)	05/3月期	04/3月期	増減
営業外収益	2,385	3,489	△1,104
受取利息	633	322	310
受取配当金	38	229	△191
持分法投資利益	355	2,097	△1,741
為替差益	490	-	490
その他	865	839	26
営業外費用	3,276	4,068	△791
支払利息	2,621	2,189	432
為替差損	-	735	△735
その他	655	1,143	△488

(百万円)	05/3月期	04/3月期	増減
特別利益	6,619	1,068	5,551
投資有価証券売却益	6,072	1,068	5,004
ガス操業権売却益	547	-	547
特別損失	2,756	1,715	1,041
減損損失	91	-	91
固定資産除却損	327	1,001	△674
退職給付費用	740	247	492
投資有価証券評価損	462	-	462
統合関連費用等	370	465	△95
その他	763	0	763

＜減損会計の早期適用＞

- ・ 当期より固定資産の減損に係る会計基準を採用しているが影響は軽微

原油・天然ガス販売量／販売価格

(販売量単位) 原油:千バレル/日、天然ガス:百万立方フィート/日
 (販売価格単位) 原油:\$/バレル、天然ガス:\$/千立方フィート

	販売量			販売価格	
	05/3月期	04/3月期	前期比(%)	05/3月期	04/3月期
カフジ原油	78.7	93.4	84.2	33.43	26.46
フート原油	6.0	4.9	122.4	36.72	27.28
南海ミディアム原油	3.6	3.4	105.9	35.92	28.86
エコフィスク原油	0.4	0.5	80.0	37.50	28.85
原油計	88.7	102.2	86.8	—	—
天然ガス(米国メキシコ湾)	12.1	13.6	89.0	6.13	5.73

(注) 天然ガス販売量の当期実績は1～10月の平均値

石油製品販売量

(千KL)

	05/3月期	04/3月期	前期比(%)
揮発油	1,640	1,630	100.6
ナフサ	328	289	113.2
ジェット	953	1,008	94.5
灯油	438	422	103.8
軽油	1,126	1,356	83.0
A重油	518	452	114.7
C重油 (内電力向け)	1,142 (713)	1,383 (1,009)	82.6 (70.7)
ベンゼン	176	148	118.6
キシレン	297	279	106.1
生焚原油	—	50	—
その他	576	564	102.1
小計	7,193	7,582	94.9
ジョイント・バーター	1,533	1,033	148.4
合計	8,726	8,616	101.3
内、輸出量(除バンカー)	166	295	56.2

連結貸借対照表の主な増減項目

	05/3月期	04/3月期	増減額	増減要因 (億円)
流動資産	1,539	1,313	226	原油価格上昇/大規模定修向け在庫量増による棚卸資産増加 +173
固定資産	1,393	1,406	△12	
有形固定資産	810	837	△27	AEDC(USA)売却によるガス井減少△21
投資その他の資産	570	563	6	AEDC(USA)売却 △10 新華南石油子会社化 △14 有価証券売却 △42 長期性預金+44 KGOC貸付増加 +41
資産合計	2,934	2,720	213	
流動負債	1,302	1,200	102	未払金増加 +56
固定負債	857	886	△29	KGOC貸付 +41 長借減少 △66 修繕引当金 +14
負債合計	2,159	2,086	72	
資本合計	763	632	130	当期利益 +172 自己株式 △66 自己株式処分差益 +29
負債・資本合計	2,934	2,720	213	

KGOC(Kuwait Gulf Oil Company):クウェイトとの技術・サービス契約および融資契約の相手先

連結キャッシュフローの状況

(億円)

	05/3月期	04/3月期	増減	05/3月期説明
営業活動によるCF	123	73	49	税前利益 +214 減価償却費 +39 債権ネット減少 +32 棚卸資産増加 Δ 173
投資活動によるCF	Δ 24	Δ 126	102	有価証券売却 +92 AEDC(USA)売却 +31 新華南取得 Δ 24 KGO C貸付 Δ 67 固定資産取得 Δ 23
財務活動によるCF	Δ 59	30	Δ 90	KGO C貸付見合 +67 長借ネット返済 Δ 84 自己株取得 Δ 87 自己株売却 +50
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	Δ 17	18	
現金及び現金同等物の増減	40	Δ 40	81	
現金及び現金同等物の期首残高	221	261	Δ 40	
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	37	-	37	
現金及び現金同等物の期末残高	299	221	78	

▶ 事業環境

- ・ 原油は根強い需要を背景に高値圏で推移
- ・ 原油重軽格差の拡大
- ・ 石油化学製品の好市況継続

▶ 事業計画

上流事業

- ・ クウェイトとの技術サービス契約の下でのカフジ事業継続と関連サービス業務の拡大
- ・ 原油販売計画: 53.6千バレル/日
- ・ 新規上流案件の発掘・事業化

見通しの前提

- ◆ 原油価格: ドバイ原油 \$38.0/bbl
- ◆ 重軽格差 AL-AH : \$4
- ◆ 為替レート: 105円/\$

下流事業

- ・ 石油製品販売計画: 7,873千KL
- ・ 市場動向に合致した既存設備能力増強投資
- ・ 石油製品の輸出拡大

06/3月期 通期連結業績見通し

中期計画予想を大幅に上回る収益規模

単位:億円

	06/3月期 \$38.0/Bbl ¥105/\$			05/3月期 \$36.6/Bbl ¥108/\$			増減額 \$1.4/Bbl ¥3/\$ 円高		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	767	3,633	4,400	1,258	3,514	4,772	△491	118	△372 (△8%)
営業利益	31	144	175	34	149	184	△3	△5	△9 (△5%)
経常利益	28	137	165	28	147	175	0	△10	△10 (△6%)
当期利益	36	74	110	50	121	172	△14	△47	△62 (△36%)

セグメント別 明細 (内部取引 消去後)	06/3月期			05/3月期			増減		
	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	715	52	3,633	894	63	3,814	△179	△11	△181
営業利益	8	22	144	7	27	149	0	△4	△5

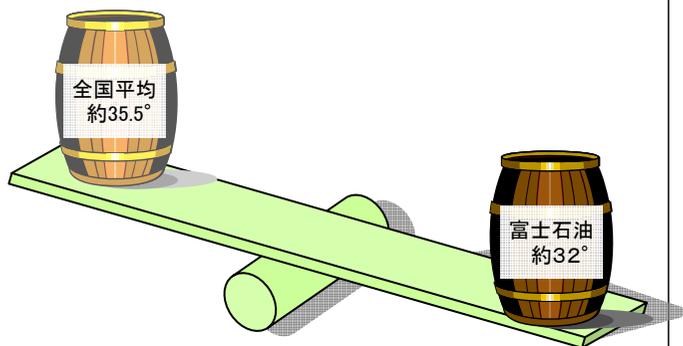
営業利益の増減要因	上流	下流
増加要因	原油高	重軽格差拡大 輸出増 石油ピッチ価格上昇
減少要因	円高	定期修理による販売減 在庫取出益減 △27

(注)内部取引消去は下流部門に含めて表記。油価はドバイ原油。

原油重軽格差拡大局面での優位性

重軽格差拡大に伴う原価(原油費)低減効果

原油API比重比較



富士石油は全国平均より約3.5度重い原油を処理
(04年度実績)

